



とび出そう 自然の中へ 野に山に

# 夜明けの星

団 NEWS No.282

日本ボーイスカウト川崎第46団  
広報委員会発行

## 国際交流特集

### 「24WSJ」に参加して

BS 隊 フクロウ班 次長 原田愛莉

7/21から8/5まで第24回 世界スカウトジャンボリーに参加してきました。

今回の開催地はアメリカでウエストバージニア州にあるサミット ベクテルでした。世界中から4万人以上のスカウトが集まったこの大会に参加して一生に一度のかけがえのない体験をしてきました。46団の皆さんにはまたあらためてこの経験を報告したいと思いますが軽く報告させていただきます。

このような活動を通して、外国の文化や習慣などに身近に触れ、自分もそれを体験することで色々な考えを知ることができました。

そして、これらの経験をこれからの私のスカウト活動に生かしていきたいと思えます。素晴らしい経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。



#### 【開会式】

世界中から来たスカウトたちがこのアリーナに集まりました。すごく盛り上がりました。



#### 【国際交流】

ワッペンやチーフの交換をしたり、ノーバスで連絡先を交換したりしながら、世界中のたくさんのスカウトと友達になることができました。



#### 【交歓会】

その日の夕食をどこか外国の隊を招いたり、ご馳走してもらったり、一緒に食べたりしました。また、外国の食文化についても知ることができました。



#### 【カルチャーデー】

私たちのサイトを訪ねてくれた外国のスカウトやリーダーに、書道や茶道、折り紙やそうめんといった日本の文化や食べ物を紹介しました。

### 「第28回ボルチモアー川崎スカウト交流派遣に参加して

～川崎市・ボルチモア市姉妹都市提携40周年記念～  
RS隊長 北村 岳人

7月20日から8月5日までの17日間、アメリカ・メリーランド州のボルチモア市に派遣されました。私の役務は副長として、プログラム、安全、記録を中心に担当し、さらに、御土産の選定と調達の責任者として、隊長（小林54団V S隊長）と一緒に、日本的な物で、今までにないオリジナル性ある品を半年以上前から準備を重ねました。

また、地区副コミッショナーとしての立場で、現地では大変貴重な機会を得ることができました（ウッドバッジ授与式とイーグルスカウト授与式。後述）。

今回の派遣は、一言では中々伝えきれないほど、多くの経験と友人を得ることができました。私自身が英語力は堪能ではないので、会話に不安を抱えていたのは事実で、5月から毎日ラジオ英会話で耳を慣らし、単語の組み合わせであっても、相手側が私のレベルに合してくれ、少しずつでしたが、途中からは、気持ちまで伝わることができました。

渡米前に、福田市長を表敬訪問した際、市長からスカウトに対して、「言葉の壁を乗り越える勇気を持って、楽しんできて欲しい」と言われたことを実践したと感じました。

この派遣交流プログラムは毎年相互に派遣する歴史と伝統があり、神奈川連盟内でも、こうした長期間に渡って継続しているプログラムは他にはありません。当団からも過去にボルチモアに行ったことがあるスカウト（初代はOBSの池野さん、最近ではRS江上、伊比一など）や指導者がおり、またホームステイ先として受入れをされた家庭（多賀さん、田中さん、荒川さん、久保井さん、渡辺さん、原田さん等）も多くなります。

さて、今回は、ボーイスカウト川崎地区の派遣交流事業に、ガールスカウト川崎市連絡会が初めて参加する機会となり、総勢で18名（BS12名、GS6名。指導者BS3名、GS1名）の大所帯となりました。しかも指導者のうち男性は北村だけで、本年3月頃まではブロードクリークのキャンプのみの参加を考えていましたが、隊運営全体のこと、男子スカウトがいるので男性指導者が不可欠であり、海外派遣の意義などの他、仕事の事（長期休暇）なども悩みながら、最終的には全日程参加することにしました。

現地での主な活動プログラムは例年と大きく変わりありませんが、今年には川崎市とボルチモア市が姉妹都市を提携して40年を迎え(1979年6月14日姉妹都市提携)、現地の姉妹都市委員会の方々が特別にクルージングとブルークラブランチ(名物のカニ料理)を準備してくださいました。

到着後の前半は、ブロードクリークキャンプ場(BC)で6日間のキャンプでした。キャンプイン前に、ボルチモア側主催のウェルカムパーティがBCで行われ、ホームステイ家族や姉妹都市委員会の方々などが出席し、本格的なプログラムがスタートしました。

BCでは大人も含め、初めにスイムテスト(100m+立ち泳ぎ)があり、レベルによって水プログラム(カヌー・カヤック、水泳)の参加条件となりました。主なプログラムは、ライフル、アーチェリー、ショットガン、クライミング、4輪バギー、川下り(チュービング)、モーターボートなど、日本では中々体験できない活動が用意され、しかも、危険を伴うプログラムはプロが指導して安全面を確保していました。

キャンプの食事は、バイキング形式で、食事作りやプログラムのスタッフは、ローバースカウト年代の若手を中心となって運営していました。BCでのキャンプは、訓練ではなく楽しむことに力点を置いているのが特徴で、私自身は少々戸惑いもありましたが、こういうキャンプスタイルがあるんだなあと思えました。

また、フラッグセレモニー(国旗・州旗、キャンプ場旗)とその中で行う「おきての復唱」、スカウトウォンサービスは、大人が関与せず、スカウトが主体となって行われていました。まさに自発活動の現れだと思えました。

5日目の夜には、日本のスカウトがキャンプ場スタッフを招待し、日本食(焼きそば・カレーライス)を振舞うジャパナイトを行い、若手スタッフ(約40人)のほとんどが来てくれました。

キャンプ最終日はクロージングファイアを20時から行って、キャンプが閉幕する流れで、スケール感、演出など、伝統あるキャンプ場でのキャンプファイアもとても楽しく過ごすことができました。

私のホームステイ先は、日本に2回派遣交流の副長として来たことがある友人のMikeでした。自宅はボルチモア市郊外の閑静な地にあり、敷地は想像以上に広く、地下室完備の豪邸でした。3匹の犬や1匹の猫も私を家族の一員として迎えてくれ、最後の日は涙、涙、涙の別れとなりました。



左: Fran、真ん中: 娘の Jessica、Mike

Mikeは私と同じトレーナー(4ビーズホルダー)として、WB実修所の所長(コースディレクター)を務めたことがあるベテランの指導者です(奥さんのFranも4ビーズ)。

一つ目の貴重な体験として、ウェルカムパーティの際、今回の副長の一人(Michael)が実修所を修了したので、WBの伝達式に出してくれないか?と投げかけてくれ、コミッショナーとしてその場に参加させてもらいました。



日本ではWBの修了は修了証を手渡し、2ビーズとギルウェルスカーフをかけることが主ですが、アメリカでは、WB訓練の歴史、ビーズやスカーフ、ウォググルの意味などの説明をしながら、家族がスカーフをかける演出を行うなど、重みを演じていました。最後には「Back to Gilwell」をスタッフ全員で歌いながら、1人ずつMichaelと握手をしていく場となり、私も最後に歌いながら登場して、Michaelと握手し、「おめでとう!」を言って、記念品(2ビーズのストラップとWBのワッペン)を手渡すことができました。

もう一つの貴重な体験は、日本のスカウトをホームステイ先として受け入れたスカウトが、イーグルスカウトに進級し、その授与式(Court of Honor)に出席し、コミッショナーとしてお祝いのスピーチ(もちろん英語で)をさせて頂く機会がありました。



真ん中: Tyler、右: 小林隊長

会場には、彼がこれまで積み重ねてきた証(進級記章、進歩記章、様々な活動に挑戦したこと)が大きく披露され、100人近い出席者でお祝いする時間を過ごすことができました。日本の富士スカウト授与式では、こうした方法も参考にした方が良くと思えました。

派遣期間中、4日間あったホストファミリーデーは、ボルチモアで有名なナショナル水族館や、アメリカの鉄道発祥地を記念した鉄道博物館などに連れて行ってもらった他、アメリカ国歌発祥地であるFort McHenryでは、国歌が作られた歴史を映像で観て、初めて英語でアメリカ国歌を歌っ





## 夏キャンプ特集

て、とても感動的な印象を受けました（自然と涙が溢れてきました）。また、市近郊の Lake Roland に行き、カヌーで湖に流れる川を遡りながら、ランチは途中にある中州のような場所で、ビールやワインを飲みながらフライドチキンを食べ、とても贅沢な時間を過ごすことができました。食事については、ホースラディッシュを付けて食べた生ガキや、ピザ、ビーフのハンバーガー、アイスクリームもとても美味しかったです。とにかく私たちが楽しい時間を過ごして欲しい思いが随所に表れ、何がしたい、食べたいと、常に考えを聞いてくれました。

そんなお世話になったリーダーに対して、日本のリーダーで夕食に日本食を振る舞い、おもてなしました。メニューは、鳥のから揚げ、野菜のてんぷら、お好み焼き、御飯（飯盒を持込み（お土産）で炊きました）、ポテトサラダ、味噌野菜スティック、冷やし中華、磯辺もち、抹茶プリン、抹茶パンケーキ。日本酒も振る舞い、どれも美味しいと言ってくれました。持込の食材もありますが、現地のスーパーでも手に入り、日本にいる感覚でした。

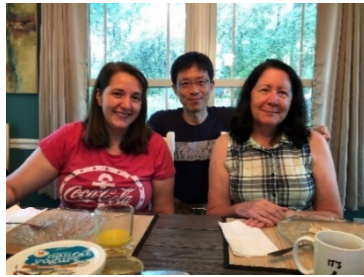
ボルチモアを経つ前の日となる最後は、さよならパーティーでした。

日本のスカウト全員でボルチモア関係者（想定を2割増し、100人）に対し、日本食（ちらし寿司、お好み焼き、卵焼き、焼き肉、浅漬け、具沢山の味噌汁、そうめん、白玉、かき氷、ラムネ）を振る舞い、多くの方から、お褒めの言葉を頂きました。

帰る日の朝食は、Fran と Jessica がパンケーキとカリカリバーコンなどを作ってくれました。モーニングコーヒーは僕の役割で、涙をこらえながら、感謝のギフトとして、風呂敷を贈りました。本当に犬からも家族として迎えてくれ、「Thank you so much」を言うのが精いっぱいでした。

ワシントンダレス空港で最後の別れの時は、お世話になった Todd 隊長をはじめ、副長の Michael、Lynn（大のスノーピー好きで、スノーピーグッズを沢山お土産を渡しました）、Lory、3776 隊の Committee Member である Marilyn、Kim と一人ひとり、感謝の言葉を伝えました。沢山の涙を流しましたが、彼らとともに過ごした日々は、一生の思い出となり、これからのスカウト活動に役立てていきたいと考えています。

最後に、今回の派遣に際し、団内の多くの指導者や保護者の方からご支援を頂きました。心から感謝いたします。



「開拓！！」

BS 隊 隊長 原田健

8/10～15 まで5泊6日の夏キャンプに行ってきました。場所は山梨県河口湖畔から数キロ山あいに入ったずらん荘第2キャンプ場。事前にグリーンバーと一緒に下見。水道は無い。電気も無い。仮設ポットトイレがひとつだけポツンとあるのみ。草はボーボー。「大丈夫かな？」と思うと同時に「これは良い経験が出来るゾ」とも思いました。

下見に行った班長は計画書のテーマを「開拓キャンプ」と設定しました。班員みんなで考えた計画書にはスーパーに毎日行けない事を踏まえた献立。進級や技能章に必要な課目を取り入れたプログラム。無理のないタイムスケジュールなどが記されました。

主なプログラムは

- トイレ作成
- 富士山噴火で出来た地底溶岩洞窟で永久凍土を体験。
- 河口湖周辺神社巡りハイク(野帳、手旗、ロープのミッション)
- 水の濾過装置作成
- 料理コンテスト
- キャンプファイアー

雨で濡れた薪に火をつけるのを苦労して、「晴れている時に薪を確保する大切さ」が身に沁みましたね。「蛇口をひねれば水が出る」ありがたみを知りましたね。キレイなトイレの快適さを知りましたね。

班員みんなで力を合わせて良いチームワークでした。班長も素晴らしいリーダーシップを発揮しました。

さあ、後半もフクロウ班で楽しい活動をしていこう！！





開所式も終わり、いよいよミッション開始、の前に、少し水遊びしてから腹ごしらえです。



「CS 隊夏キャンプ報告」  
CS 隊 隊長 津嶋 直文

令和元年8月9日～11日の2泊3日で行ったCS 隊夏キャンプの様子を報告します。

今回のキャンプ地は、8年前に利用した奥多摩中茶屋キャンプ場です。キャンプ場の中に川が流れている特徴ある場所です。

9日の朝7時30分に五反田神社そばの三田第三公園に集合です。



みんな元気に集合しました。暑い日が続いていますが、キャンプ場に涼みに行きましょう。

料理スキルがちょっと不安なCS リーダーのために、団委員長、BVS リーダー3名、RS スカウト1名が応援に来てくれました。皆さん、ありがとう(涙)。

行きはバスです。皆乗車しましょう。忘れ物はないね?では、出発です。

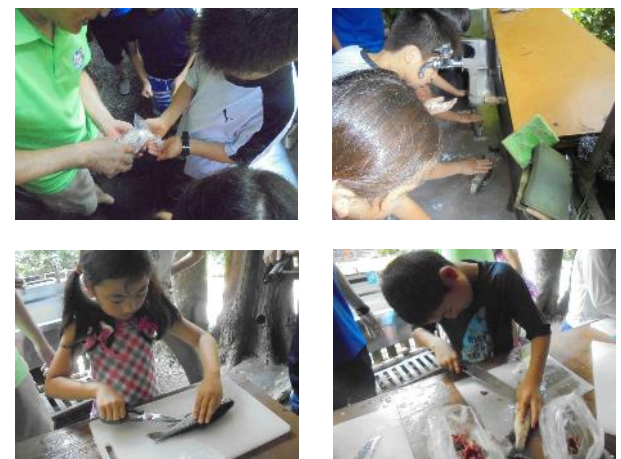
連休前の週末だけあって、道路が混んでいました。30分遅れで11時頃に中茶屋キャンプ場到着です。装備品担当の車2台もほぼ同時に到着です。それでは、荷物を持ってキャンプ場へ移動です。まずは、開所式の準備です。組長、服装点検よろしく!



腹ごしらえも終わり、いよいよミッション開始。キャンプテーマ「妖精ポーノ・オーレを救え!」の始まりです。力をつけるために、自然のものをいただきます。川の生き物、ニジマスの掴み取りに挑戦です。



角に追い込んで、上手に捕獲できたようです。捕まえたニジマスを皆で調理します。あら塩でぬめりを取り、包丁とはさみで捌きます。



捌き終わったスカウトは、スイカを冷やしてきていました。でも、食べるのは明日だよ。



ニジマスが焼けるまで水遊び。



焼く準備も終わり、焼き始めます。



いただきます。



みんな、「いただきます」の意味、分かったかな。休憩後、ボーノとオーレを見つけるためのアイテム「バードコール」を作ります。

まずは、棒材から本体を切り出します。



デザインを考えて、穴をあけてアイボルトをねじ込み、完成です。



ます。メニューは、豚汁、鮭のホイル焼き、デザートはフルーツポンチ。



ご飯の歌を歌って、いただきます。



キャンプ初日の締めくくりは、組長次長出席の反省会です。組目標、達成できたかな。



キャンプ2日目は、点検からスタートです。同時にスカウトたちの健康状態もチェックします。昨晩は、男子会、女子会が盛り上がったようで、眠そうです。



朝食、朝礼を済ませて、ボーノとオーレの救出に向かいます。



お弁当を用意して、準備体操の後は、いよいよ棒ノ折山へ。そこでボーノとオーレが助けを待っています。昨日作ったバードコールを忘れずに。





幾多の困難を乗り越え、無事、登頂です。途中で使ったバードコールでボーノとオーレを助けられたようです。

この後、おやつに冷やしておいたスイカを食べました。

夕食までの間にハガキを書きます。みんな、だれに出すのかな。



夕食は、焼きそば、食欲旺盛です。

下山後は、お待ちかねの水遊び。たっぷり遊んだ後は、スイカ割りのシミュレーションです。



夕食の後は、キャンプファイヤーです。棒ノ折山で助けたボーノとオーレも参加してくれました。

歌、ゲームで大盛り上がりです。今日は、ぐっすり眠ってね。





楽しいキャンプも3日目、最終日です。  
点検、朝礼、朝食、と大忙しです。



朝食は、ホットドック。牛乳パックの中にホットドックを入れて、そのまま焼いて出来上がりです。うまく焼けたかな？



それでは、出発までカブブックを履修しよう。サイン、たくさん貰えたかな。お昼ご飯も準備完了。



名残惜しいけど、川崎に向けて出発。青梅線、南武線と電車を乗り継ぎ、無事16時に登戸到着です。

みんな、一回り成長しました。来年のキャンプが楽しみです。

ご支援いただいた保護者の皆様、久保井団委員長、BVS 宮崎隊長、三須副長、青谷副長、RS 牛尾スカウト、とても有意義なキャンプとなりました。ありがとうございました。

以上、夏キャンプ報告でした。

## イベント・ニュース

### 菊スカウト章授与式が行われました (2019年6月29日)

6月29日(土)15時から、黒川青少年野外活動センターにて菊スカウト章授与式が行なわれました。川崎地区副コミッショナーから原田莉子スカウトに菊スカウト章が授与されました。



#### 〈原田莉子スカウト受賞コメント〉

ついに念願の菊章を取れました！

ここまで来れたのは、リーダー、班長、先輩方や親のおかげです。ありがとうございました。

私は、2級と1級は旧の課題でとっていたので菊章を取るときは、とても大変でしたが取れた時はとても嬉しくて最後までできたのが自信となりました。

新進級課題で上がってくる人は、スカウトスキルの高いスカウトとなるのでこれからは復習しながらアドバイスもできるように頑張りたいです。

また、富士章を取ることも目標ですので1つずつ頑張っていく予定です！

### BS 隊フクロウ班が神奈川県技能大会ロープ結び優勝！！ 手旗準優勝！

(2019年7月14日)

7月13日(土)、14日(日)に横浜市金沢区海の公園で開催された「ボーイスカウト神奈川県連70周年記念スカウトフェスタ」で神奈川県79個班が参加した「班制高揚技能大会」にて、川崎46団BS 隊フクロウ班が「実用的結索リレー」の部1位、「手旗リレー」の部2位という快挙を達成しました。



〈フクロウ班班長 伊藤帆孝スカウトコメント〉

今回僕達川崎第46団フクロウ班は、日本ボーイスカウト神奈川連盟が創立され70周年を記念したスカウトフェスタに参加しました。その中で、神奈川連盟に所属する神奈川全地区のボーイスカウトが集まって行う班制高揚技能大会に参加しました。

最初、僕達は神奈川全地区のスカウトが参加すると聞いて、良い結果を出せるわけがないと不安がありました。正直今までやってきたことをやれば良い結果が出るのではないかと思いました。その日の前夜祭の後、僕が班長会議をやっている間に、他のスカウト達はロープ結びの練習をしていました。少しでも結果が残せるように練習をするスカウトらしい行動に、とても感心しました。次の日の朝、班制高揚技能大会に参加する人が全員揃い、ミーティングをして、僕達フクロウ班はロープと手旗信号で神奈川一を目指すことにしました。その後大会に向けて手旗とロープの最終確認をして大会に挑戦しました。

まず始めに手旗への挑戦。災害時に手旗を使い携帯番号を送受信するというものでした。最初は僕のミスで、解読が遅くなってしまった上に番号を間違えてしまいました。

その後も繰り返し挑戦した4回目。タイムはまだ分かりませんでした。何とかクリアすることが出来ました。

その後お昼ご飯、全体プログラムをはさみロープへの挑戦。ロープの課目は相手もやい、よろい結び、バタフライノット、ちぢめ結び、トートラインヒッチ馬つなぎの順番でした。班員それぞれが自分の結びを練習しての挑戦。成功はしましたがタイムの問題で良い記録が出ず。結びの練習を徹底的に行い、タイムを縮め上位に出るための話し合いをして、3回目の挑戦。成功した上2位の班より8点高い記録を出して、1位になる事が出来ました。

その間手旗の方も1位でしたが、記録を上まわれ2位になり、受付の時間が終了し逆転することは出来ませんでした。それでも僕達のスカウトスキルを出し自分達の力で神奈川連盟の記念の場で手旗2位・ロープ結び1位という成績をおさめられたことを大変光栄に思います。ボーイスカウトやってきてこんなに嬉しいことがあるんだなと思われされる1日でした。これを機会に僕達の後輩へ語り継がれるエピソードとなり、川崎第46団までも後世へ語り継がれる団となれば僕はとても嬉しく思います。

そして僕達はより自分のスキルが上がるように、スローガンである日々の善行を忘れずにボーイスカウト人生に磨きをかけていきたいと思っています。

編集後記

川崎46団が県大会で受賞するのは十年以上ぶりで、今回フクロウ班が受賞した賞状は額縁に入れて団ハウスに飾られています。Fフクロウ班は46団の歴史に名を刻みましたね。

〈広報委員〉  
江川 豊、荒川 泰一

川崎46団のHP  
<http://www.bsk46.com/>

